

環境経営方針

基本理念

2015年に持続可能な開発目標（SDGs）が国連サミットで採択されたことを受け、国では「2050カーボンニュートラル宣言」を行い、その実現に向け、「地球温暖化対策に関する法律」や「地球温暖化対策計画」の見直しを行い、脱炭素社会の構築に向けた取組みを加速化させています。

本県においても、「新とやま温暖化ストップ計画」（2019年8月）を策定し、県民・事業者と連携して、地域を挙げた脱炭素化社会に向けた取組みを推進するとともに、「新県庁エコプラン（第5期計画）」（2021年3月）を策定し、職員が一丸となって環境負荷の低減に取り組んでいます。

こうした中、当センターは、環境の調査・監視・研究を担う中核機関として、環境関係法令等の遵守はもとより、「新県庁エコプラン」の目標の達成に貢献するとともに、県民・事業者の手本となるよう、継続的な環境改善に率先して取り組みます。

基本方針

(1) 省エネ・省資源の推進

- ・エネルギーや資源の使用量を定量的に把握・可視化し、実効的な削減に繋がります。
- ・全職員が省エネ・省資源を意識し、業務の改善に取り組めます。
- ・当センターが主催する会議のペーパーレスやオンライン化を進めます。
- ・グリーン購入を徹底します。

(2) 県民への啓発、事業者の自主的な環境保全活動の促進

- ・気候変動適応センターとして、県民・事業者への気候変動適応に関する情報提供や適応の取組みを支援します。
- ・環境学習室エコ・ラボとやまを活用し、環境教育を積極的に進めます。

この環境経営方針、活動実績等は、職場内に掲示して全職員に周知するとともに、ウェブページへの掲載等を通じて広く公表します。

〈本方針と関連する SDGs の取組み〉



2022年4月1日

富山県環境科学センター

所長

九澤和英